

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 設計方法の見直し 】

護岸補強方法の合理化

事業名：大阪市道高速道路淀川左岸線建設事業

概要：河川内基盤整備工事におけるヘドロ浚渫時の護岸補強方法について、一般的な工法である鋼矢板による護岸補強でなく、抑え盛土・土砂置換による方法を採用することにより、コスト縮減を図りました。

効果：

護岸補強方法に土砂による対策を採用することによって、コスト縮減が図れます。

縮減額 119百万円

